

第35回日本女性医学学会学術集会

# 共催ランチオンセミナー 7

チケット制

2020

11/22

12:30 ~ 13:30

(日) [会場] 都市センターホテル 第3会場 5F スバル



## 座長：佐々木 寛 先生

東京慈恵会医科大学 客員教授 / 千葉徳洲会病院 婦人科部長



## 男性医師ひとりの婦人科クリニックが行う VIO脱毛の実態報告 ~プレエイジングケア(介護脱毛)~

演者 江川 晴人 先生 産科・婦人科 江川クリニック 院長

【ご経歴】京都大学医学部卒業。産婦人科専門医・指導医。京都大学大学院、日本バプテスト病院産婦人科部長、国立病院機構京都医療センター産科医長を経て、2015年12月京都市にて産科・婦人科 江川クリニックを開業。

若い世代の女性に加えて、中高年層では介護脱毛を意識した VIO 脱毛の需要が近年増加しているが、脱毛を希望する多くの女性は、美容クリニックでの受診に抵抗感があると思われる。これらを考慮し、幅広い年齢層が婦人科を受診することから、女性の VIO 脱毛のニーズに対応するため、当クリニックでは 2019 年から開始。現在に至るまで 31 例のレーザー脱毛を行っており、クリームも無く患者満足度も十分に高い。また、GSM 症状に対する治療として炭酸ガスフラクショナルレーザー療法も行っていることから、VIO 脱毛も含めた腔・外陰部のトータルケアの有効性につき所見する。



## GSM 症状に対する 炭酸ガスフラクショナルレーザー療法の有効性

演者 八田 真理子 先生 聖順会ジュノ・ヴェスタクリニック八田 院長

【ご経歴】聖マリアンナ医科大学卒業。産婦人科専門医。順天堂大学、千葉大学、松戸市立病院勤務を経て、1998年松戸市にて聖順会ジュノ・ヴェスタクリニック八田を開院。地域に密着したクリニックとして、思春期から更年期まで幅広い世代の女性の診療・カウンセリング、正しい知識の啓蒙活動に積極的に取り組んでいる。

加齢に伴い多くの女性が経験する GSM 症状に、市販薬で対処し放置している女性は少なくない。当クリニックでは、2016 年 3 月から 1,000 例以上の炭酸ガスフラクショナルレーザー療法を行ってきた。平均年齢は 58.4 歳 (25 ~ 92 歳)、治療前症状は「尿漏れ」「乾燥」「ゆるみ」の順に多く、半数以上が性器症状と尿路症状を重複していた。治療効果は即効性であり改善度も満足度も高く、HRT 併用の有無に関わらず長期に及んでいた。一方で、米国 FDA が注意喚起を行った副作用や、トラブルは一例も経験していない。産婦人科診療ガイドライン婦人科外来編 2020 において、腔・外陰部の不快症状に対し炭酸ガスフラクショナルレーザー治療の推奨が考慮されたことを踏まえて、今後の GSM 症状に対する有効性を討論したい。

婦人科領域における  
様々なレーザー治療